

麻酔科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	重症下肢虚血患者に対する持続坐骨神経ブロックにおけるカテーテル再留置の実態
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	麻酔科 （職名）助教（氏名）鳥居麻以
研究の対象となる方	研究実施承認日から 2025 年 12 月までに包括的高度慢性下肢虚血(CLTI)に伴う下肢疼痛に対して持続坐骨神経ブロックを施行した患者さん
研究期間	研究実施承認日から 2027 年 3 月まで
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 本研究は、CLTI に伴う下肢痛に対して持続坐骨神経ブロックを施行した患者さんを対象として、カテーテル再留置の頻度、再留置までの期間、再留置の契機および再留置後の臨床経過を検討し、長期的なカテーテル管理の実態を明らかにすることを目的とします。 〔利用方法〕 当院で通常診療として行われた持続坐骨神経ブロックについて、電子診療録および看護記録から診療情報を収集します。収集した情報を用いて、カテーテル再留置の有無、再留置までの日数、再留置を要した理由、再留置後の疼痛経過、カテーテルの挿入方法、留置長、固定方法、局所麻酔薬の投与量、合併症の有無等を整理し、挿入方法によってカテーテルの留置期間や再留置の頻度に違いがあるかを検討します。解析にあたっては個人が特定できないよう氏名や患者 ID などを削除または置換し、集計結果として学会発表や学術論文で公表する場合があります。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録、看護記録および処置記録等から、年齢、性別、身長、体重、診断名、既往歴、併存疾患、血液検査結果、疼痛評価、鎮痛薬の使用状況、坐骨神経カテーテルの挿入日、抜去日、留置期間、挿入方法、留置方法、局所麻酔薬の種類・投与量、再留置の有無、再留置までの日数、再留置を要した理由、合併症の有無、治療経過等を収集します。

提供する試料・情報 を用いる学外の研究 責任者	非該当
試料・情報を利用す る学外の者	非該当
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年2月28日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報 の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 麻酔科 担当者：助教 鳥居麻以 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 12338）